

平成 29 年度 支援教育実践研修 F（発達障がいに関する内容） 実施要項

1 目的 発達障がいのある子どもの教育に関する知識や技能についての認識を深め、一人一人の障がいの状態や教育ニーズに応じた支援の在り方について考える。

2 対象者 幼稚園、小・中学校、義務教育学校、府立高等学校(岸和田市立の定時制の課程を含む)、府立支援学校(八尾市立特別支援学校を含む)の教員

募集人数 100名

3 研修内容等

回	日時	研修内容	講師等
1 *	10月20日(金) 14:00～17:00	発達障がいのある子どもの理解と支援の在り方 〔講義〕	梅花女子大学 教授 伊丹 昌一

* 他の研修との合同開催となります。

4 会場 大阪府教育センター（大阪市住吉区苅田4丁目13番23号 電話 06-6692-1882）

地下鉄御堂筋線「あびこ」駅下車、東北東へ約700m
JR阪和線「我孫子町」駅下車、東へ約1,400m
近鉄南大阪線「矢田」駅下車、西南西へ約1,700m

5 担当室 支援教育推進室

6 その他 (1) 受付は30分前から
(2) 印鑑を持参すること
(3) 来所時には、所属名・名前が入った名札を着用すること
(4) 自家用自動車・バイク等で来所しないこと

一括募集4

平成 29 年度 研修のシラバス

1. 研修名	支援教育実践研修 F（発達障がいに関する内容） （研修番号 2274）
2. 研修の目的	<p>発達障がいのある子どもの教育に関する知識や技能についての認識を深め、一人一人の障がいの状態や教育ニーズに応じた支援の在り方について考える。</p> <p>目 標</p> <p>① 発達障がいの特性を知り、子どもの実態把握に基づいた支援の在り方について理解する。</p> <p>② 一人一人の教育ニーズに応じた指導の実際を考える。</p> <p>「OSAKA 教職スタンダード」該当項目：第 1 期 10, 第 2 期 10~12・15, 第 3 期 10・11</p>

3. 研修課題とねらい等

回	研修課題	ねらい	内容	準備物・事前課題
1	発達障がいのある子どもの理解と支援の在り方	発達障がいの特性を知り、子どもの実態把握に基づいた支援の在り方について理解する。	発達障がいの特性に関する最新の知見や子どもの行動のとらえ方等を学び、子ども一人一人の教育ニーズに応じた支援の在り方について考える。	